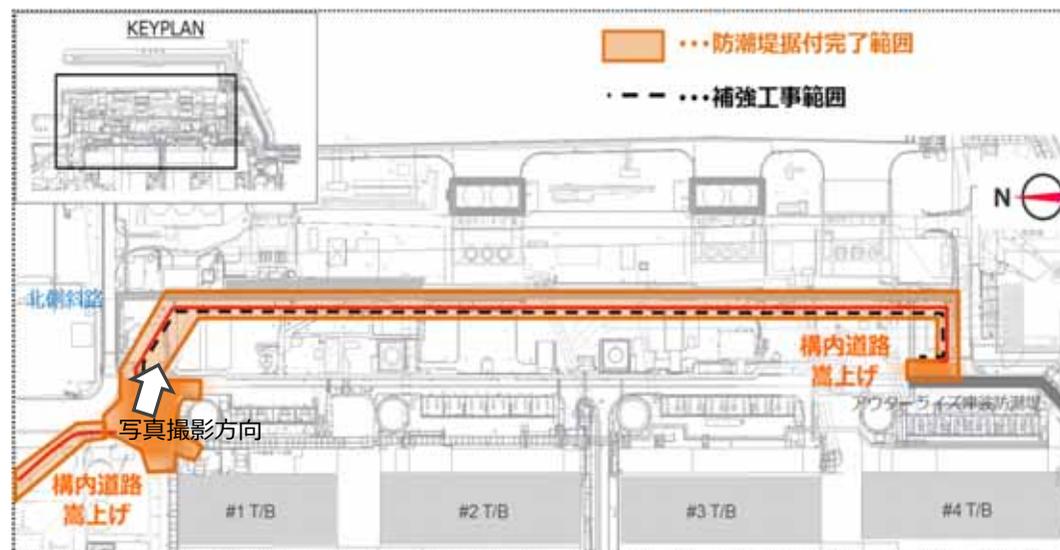


### 【概要】

- 切迫性が高いとされている千島海溝地震に伴う津波に対して、建屋流入に伴う滞留水の増加を防ぐこと、並びに重要設備の津波被害を軽減することにより、福島第一原子力発電所における廃炉作業が遅延するリスクを緩和することを目的に、千島海溝津波防潮堤のL型擁壁の据え付け作業を2019年9月23日から開始し、本日（2020年9月25日）、防潮堤のL型擁壁等の据付作業が完了しました。（約600m）
- これにより千島海溝津波に対するリスクの低減を図ることができました。
- 今後、干渉設備の防護工事や排水路・舗装工事を進めていくとともに、日本海溝津波の評価結果を踏まえ10月後半から補強工事を進めるなど、引き続き津波対策を強化してまいります。



## (参考) L型擁壁

---



高さ : 1.7m  
幅 (海山方向) : 1.6m  
奥行 (延長方向) : 2.0m  
壁厚 : 0.2m  
底版厚 : 0.35m  
重量 : 約4 t  
材質 : 鉄筋コンクリート造  
製作会社 : 前田製管株式会社

前田製管株式会社郡山工場  
(福島県本宮市)にて撮影